

社会資本整備総合交付金 事後評価シート(中間評価)

1 乙川リバーフロント地区整備計画

平成30年3月

愛知県岡崎市

平成30年3月

事後評価（中間評価）		
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期		
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期	平成30年3月
学識経験のある者や市議会の議員等で構成する、岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会にて、整備計画の評価を実施	公表の方法	市ホームページ

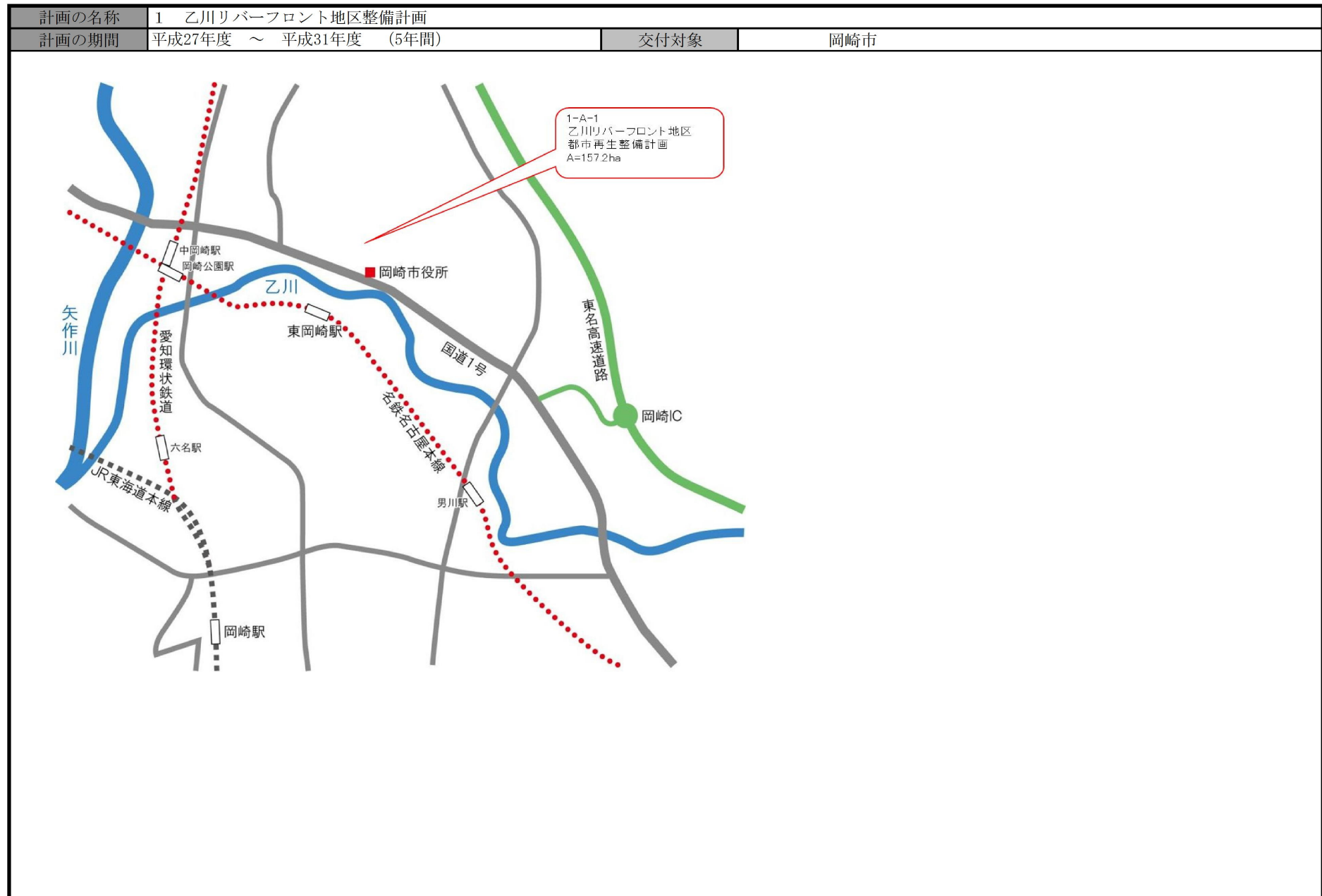
交付対象事業

[illegible]

番号	事業	地域	交付	直接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）	全体事業費	備考
----	----	----	----	----	-----	------	----------	------	------	------------	-------	----

種別	種別	対象	間接	事業名	実施主体	事業内容	実施年度	港湾・地区	H27	H28	H29	H30	H31	（百万円）
1-C-1	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市	モニュメント整備事業		徳川四天王石像、徳川家康像	岡崎市					71
1-C-2	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市	橋梁修飾照明整備事業		殿橋、明代橋の修飾照明	岡崎市					140
1-C-3	社会実験	一般	岡崎市	直接	岡崎市	木舟運行事業		五万石舟復元運行の検証	岡崎市					36
1-C-4	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市	船着場・船揚場整備事業		船着場、船揚場、係留施設	岡崎市					134
1-C-5	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	まちづくり講演会		専門家によるまちづくり先進事例の講演	岡崎市					5
1-C-6	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	かわまちづくり発信事業		客平の折りプロジェクト	岡崎市					56
1-C-7	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	かわまちづくり民間連携事業		かわまちづくりと民間事業者との連携実験	岡崎市					61
1-C-8	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	かわまちづくり組織化事業		かわまちづくり協議会、実行委員会運営支援	岡崎市					18
1-C-9	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	かわまちづくりマネジメント公募事業		かわまちづくりマネジメント公募事業	岡崎市					18
1-C-10	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	まちづくり啓発事業		ワークショップ	岡崎市					100
1-C-11	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	官民連携まちづくり持続化事業		まちづくり活動民間移行実験	岡崎市					43
1-C-12	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	まちづくりモニタリング事業		アンケート調査、中間、事後評価	岡崎市					11
1-C-13	活動支援	一般	岡崎市	直接	岡崎市	岡崎城跡調査情報発信事業		専門家による城門・曲輪等の現地説明会	岡崎市					53
1-C-14	施設整備	一般	岡崎市	直接	岡崎市	岡崎城跡歴史的建造物等活用整備事業		観光利用のための連携見える化整備	岡崎市					301
										合計				1,047

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備



都市再生整備計画 モニタリングシート

乙川リバーフロント地区

平成30年3月

愛知県岡崎市

都道府県名	愛知県	市町村名	岡崎市		地区名	乙川リバーフロント地区		面積	157.2ha
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施予定時期	平成31年度	モニタリング実施時期	平成29年度	交付対象事業費	3,339百万円	国費率	0.5

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業		事業名			事業進捗の状況(順調か、遅れているか)			
			道路【(都市再構築戦略事業): 籠田町線】 公園【(都市再構築戦略事業): 乙川河川緑地、岡崎公園、籠田公園】 地域生活基盤施設【(広場): ポケットパーク】 地域生活基盤施設【(情報板): 案内板、サイン】 地域生活基盤施設【(人工地盤等): ベデストリアンデッキ】 高質空間形成施設【(緑化施設等): ブロムナード】 高質空間形成施設【(歩行者支援施設): バリアフリー対応トイレ】			乙川河川緑地の遊歩道や階段が一部供用開始される等、順調に事業が進展している。			
			提案事業			-			
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-		-		
		提案事業	-		-		-		
	新たに追加した事業		公園【(都市再生構築戦略事業): 中央緑道】 街なみ環境整備事業		【公園】 歴史まちづくり整備事業における岡崎城周辺等の良好な景観形成・保全のための事業を追加した。 【街なみ環境整備事業】 歴史まちづくり法に基づき「岡崎市歴史的風致維持向上計画」が平成28年5月19日に認定されたことを受け、本地区に位置する岡崎城跡活用に向け、事業を追加した。		【公園】 事業の追加を踏まえ、市民アンケート調査を実施し、指標1、2、4の見直しをおこなった。 【街なみ環境整備事業】 事業の追加を踏まえ、市民アンケート調査を実施し、指標1、2、4の見直しをおこなった。		
交付期間の変更		当初	平成27年度～31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし		
		変更	なし						

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標		総合所見		今後の対応方針
				基準年度		目標年度		計測年度		達成見込み		数値目標の達成状況	効果発現要因	
	指標1	本地区の魅力発揮に関する市民等満足度	%	60	H26	65	H31	65.5	H29	あり	●	本地区の魅力発揮に関する市民等満足度が上昇し、平成29年度時点で目標値を達成している。 引き続き、市民等の目に見える形で整備が進展してくるから、満足度は更に上昇すると考えられ、目標は達成可能であるとする。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流ブロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験等により、地区の魅力が向上し、また、その場所でのアンケート調査を実施したことにより市民等満足度が向上した。	引き続き事業を推進し、中央緑道やベデストリアンデッキの整備等により、満足度の維持・上昇を図る。
										なし				
	指標2	地区中央部の橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数	人／日(12h)	3,720	H26	4,170	H31	5,106	H29	あり	●	殿橋、明代橋、潜水橋における歩行者、自転車数が上昇し、平成29年度時点で目標値を達成している。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流ブロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験の実施等により、地区の魅力が向上し、橋梁を往来する人数が増加した。	引き続き事業を推進し、橋梁往来者数の維持・上昇を図る。
										なし				
	指標3	岡崎公園を訪れる観光客数	人／年	20.7万	H26	24.3万	H31	22.7万	H28	あり	●	岡崎城入場者数は従前値から微増している。 現在、周辺の整備が事業途中であるため、事業の進展に伴い来訪者が増加するものと考え、目標は達成可能であるとする。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流ブロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験の実施等により、岡崎公園の来訪者数が増加した。	引き続き事業を推進し、周辺の環境を向上することで、岡崎城入場者数の増加を図る。
										なし				
	指標4	東岡崎駅の乗降客数	人／日	36,594	H26	40,900	H31	39,068	H28	あり	●	東岡崎駅乗降客数は従前値から順調に増加している。 現在、ベデストリアンデッキの整備や駅周辺の関連事業が事業途中であるため、事業の進展に伴い乗降客数が増加するものと考え、目標は達成可能であるとする。	乙川河川緑地で最も利用が見込まれる殿橋下流ブロムナードと河川敷の整備が完了し、その場所を利用した社会実験の実施等により、地区の魅力が向上し、東岡崎駅の乗降客数が増加した。	引き続き事業を推進し、ベデストリアンデッキ等駅周辺の整備等の進展や北東街区の民間事業等により、更なる乗降客数の増加を図る。
										なし				

	指 標		単位	従前値		目標値		モニタリング		目標 達成見込み	総合所見	今後の対応方針
					基準年度		目標年度		計測年度			
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	QURUWA上の路線価	千円/㎡	107.8	H26	109.4	H32	108.7	H29		事業の進捗により、路線価は向上しつつある。	引き続き事業を推進し、路線価 の上昇を図る。
	その他の 数値指標2	QURUWA上の公共空間を 利活用した民間事業活動 日数	日/年	1	H26	70	H32	10	H29		民間主導による公共空間利活用が促進されつつある。	引き続き事業を推進し、公民連 携を促進する。
	その他の 数値指標3											
4)定性的な効果 発現状況	本事業を含む「乙川リバーフロント地区まちづくり(おとがわプロジェクト)」により、かわまちづくり、歴史まちづくり、リノベーションまちづくり、観光まちづくりが進展し、既存拠点を河川、公園、道路などの公共投資に持続させ、まちなかの回遊を実現するため、QURUWA上の良質な公共空間を活かし優良な民間企業を引き込む公民連携事業を実施していく「QURUWA戦略」が提唱される等、公民連携によるまちづくりの機運が高まっている。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	住民参加 プロセス	乙川リバーフロント推進部会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		部会を受けた整備として本計画を実施しており、引き続き事業を推進する。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					モニタリング時点では実施していない							
		官民連携の協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		社会実験を通じて、民間主体の協議会として河川空間の更なる活用を推進する。 公民連携により、北東街区や太陽の城跡地などの公的不動産や、本事業で整備した公共空間の利活用を推進する。					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			モニタリング時点では実施していない									
		乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業による 市民の意見聴取	都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		フォーラムやワークショップ等での市民提案・意見をもとに、社会実験等を通じて公民連携したまちづくりを展開する。					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			モニタリング時点では実施していない									
	持続的なまちづくり 体制の構築	未来のまちづくりの担い手の育成と 官民協働のまちづくりの構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		部署横断のまちづくりデザイン会議等により、民間主体の公民連携事業を推進し、持続可能なまちづくりに取り組む。				
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				モニタリング時点では実施していない								
6)モニタリングの 所見	総合所見	順調 要改善	●	概ね順調に事業が進んでいる。			今後の事業の 改善点		本事業によって整備された公共空間と、既存集客拠点(りぶら、岡崎城等)及び交通結節点を結んだ主要回遊動線「QURUWA」を設定し、歴史文化を保守する視点を持ちつつ、QURUWA上の良質な公共空間を活かして優良な民間企業を引き込む公民連携事業を実施する。			